

勲章佩用心得

賞
勲
局

朕勳章佩用式ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治二十一年十一月十六日

勅令第七十六號 (官報十一月十七日)

内閣總理大臣伯爵黑田清隆

勳章佩用式

第一條 大勳位菊花章

菊花章ハ頸飾ヲ以テ喉下ニ佩ヒ其副章ヲ左肋ニ佩フ大綬ヲ以テ佩フル時ハ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ハ左肋ニ佩フ

但菊花章ヲ賜ヒタル者ハ旭日桐花大綬章瑞寶一等章ヲ併セ佩フルコトヲ得

第二條 寶冠章

一 勳一等寶冠章ハ大綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ

二 勳二等寶冠章以下ハ結蝶狀ノ綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

第三條 旭日章

一 勳一等旭日桐花章並旭日章ハ大綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ

二 勳二等旭日章ハ右肋ニ佩ヒ其副章ヲ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ

三 勳三等旭日章ハ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ

四 勳四等勳五等勳六等旭日章勳七等勳八等桐葉章ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

第四條 瑞寶章

- 一 勳一等瑞寶章ハ大綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ
 - 二 勳二等瑞寶章ハ右肋ニ佩フ
 - 三 勳三等瑞寶章ハ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ
 - 四 勳四等瑞寶章以下ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩フ
 - 五 婦人ニ賜フ勳三等瑞寶章以下ハ結蝶狀ノ綬ヲ以テ左肋ニ佩フ
- 第五條 別種ノ勳章ハ之ヲ併佩ス其大綬章ハ之ヲ併佩セス

朕金鷄勳章ノ等級製式佩用式ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年二月十一日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋

勅令第十一號 (官報二月十二日)

一金鷄勳章

功一級ヨリ功七級ニ至ル武功拔群ナルモノニ賜フ

(金鷄勳章製式略之)

金鷄勳章佩用式

(明治二十八年勅令第百二十號ヲ以テ改正)

一 功一級章ハ大綬ヲ以テ左肩ヨリ右脇ニ垂レ其副章ヲ左肋ニ佩フ

- 二 功二級章ハ右肋ニ佩ヒ其副章ヲ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ
- 三 功三級章ハ中綬ヲ以テ喉下ニ佩フ
- 四 功四級章以下ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

○賞勳局告示第一號

明治二十一年十一月十一日勅令第七十六號勳章佩用式第三條第二項ニアル勳二等旭日章ノ副章ハ其製式勳三等旭日章ニ異ナルコトナシ

明治二十一年十一月十九日

賞勳局總裁伯爵柳原前光

○賞勳局告示第一號

勳章記章佩用心得

第一款 一等勳章ヲ有スル者更ニ別種ノ一等勳章ヲ受ケタル時ハ(旭日桐花章ト旭日章トハ同種ナリ併佩スルコトナシ)後ニ受ケタル一等勳章ノ正章竝ニ其副章ト前ニ受ケタル一等勳章ノ副章トヲ併佩スヘシ

第二款 二等以下ノ勳章ヲ有スル者更ニ同種上級ノ勳章ヲ受ケタル時ハ其下級ノ勳章ヲ佩フルコトヲ止ム別種ノ同級若クハ上級ノ勳章ヲ受ケタル時ハ之ヲ併佩スヘシ

第三款 二等勳章若クハ一等ノ副章兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノノ位置ニ付テ其上位ニ列佩スヘシ

第四款 三等勳章兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノノ位置ノ上ニ佩フヘシ

第五款 四等勳章以下兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノノ位置ノ右ニ佩ヒ其記章若クハ褒章ヲ有スル者ハ之ヲ勳章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

第六款 勳章ハ男子ハ大禮服及ヒ通常禮服（燕尾服）着用ノ時佩フヘシ記章及ヒ褒章ヲ有スル者亦同シ

通常禮服着用ノ時ハ大綬章ヲ上衣ノ下ニ佩ヒ其副章ヲ上衣ノ上ヘ其位置ニ佩フ又大綬章ヲ胸衣ノ下襯衣ノ上ニ佩ヒ副章ヲ上衣ノ上ヘ其位置ニ佩フルコトアリ時宜ニ依リ大綬章ヲ省キ其副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ

旭日二等章ヲ有スル者通常禮服着用ノ節ハ其副章ヲ省クコトアルヘシ

第七款 勳章ハ婦人ハ大中小禮服着用ノ時佩フヘシ

一等勳章ヲ有スル者大禮服ニハ大綬章及ヒ副章ヲ佩フ中小禮服ニハ時宜ニ依リ大綬章ヲ省キ副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ又通常禮服ニハ時宜ニ依リ副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ

二等以下ノ勳章ヲ有スル者ハ通常禮服着用ノ時ニ於テモ時宜ニ依リ之ヲ佩フルコトアルヘシ

外國勳章記章

第八款 外國勳章佩用方ハ各彼ノ規則ニ依ル

第九款 我勳章ヲ有スル者我勳章ヲ佩ヒシテ彼ノ勳章ノミヲ佩フヘカラス

第十款 彼我ノ大綬章ヲ有スル者ハ彼ノ大綬章ヲ佩ヒス之ニ屬スル副章ノミヲ我副章ノ位置ノ下若クハ次ニ列佩スヘシ

但外交ノ時宜ニ依リ彼ノ大綬章及ヒ其副章ヲ佩フル時ハ我大綬章ヲ省キ我副章ハ併佩スヘシ

第十一款 彼我ノ綬ヲ用ヒサル勳章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勳章ヲ我勳章ノ位置ノ下若クハ次ニ列佩スヘシ

第十二款 彼我ノ喉下ニ佩フル勳章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勳章ヲ我勳章ノ位置ノ下ニ佩フヘシ

第十三款 彼我ノ左肋ニ佩スル勳章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勳章ハ我勳章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

第十四款 彼ノ左肋ニ佩フル勳章ヲ我記章及ヒ褒章ト併佩スル時ハ我記章及ヒ褒章ヲ彼ノ勳章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

第十五款 彼ノ記章ト我記章及ヒ褒章ト併佩スル時ハ之ヲ我記章及ヒ褒章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

明治二十二年二月七日

賞勳局總裁伯爵柳原前光

○内閣告示第四號

功四級勳四等以下ノ勳章及記章褒章ハ宮中關係ノ事項ニ付特ニ指示アリタル場合ヲ除クノ外時宜ニ依リ男子ハ通常服（「フロックコート」又ハ「モーニングコート」）又ハ紋附羽織袴、女子ハ通常服（「ローブモンタント」）又ハ白襟紋服（朝鮮服及臺灣服等ニ在リテハ以上ノ諸服裝ニ相當スルモノ）着用ノ節衣服ノ左肋ニ之ヲ佩用スルコトヲ妨ゲズ

大正八年^{二月}八日^{内閣告示第一號ハ之ヲ廢止ス}

昭和十年十月九日

内閣總理大臣岡田啓介

○内閣告示第一號

文化勳章ハ宮中關係ノ事項ニ付特ニ指示アリタル場合ヲ除クノ外時宜ニ依リ男子ハ通常服（「フロックコート」又ハ）又ハ紋附羽織袴、女子ハ通常服（「ローブモンタント」）又ハ白襟紋服（朝鮮服及臺灣服等ニ在リテハ以上ノ諸服裝ニ相當スルモノ）著用ノ節胸部中央ニ之ヲ佩用スルコトヲ妨ゲズ

昭和十二年二月二十四日

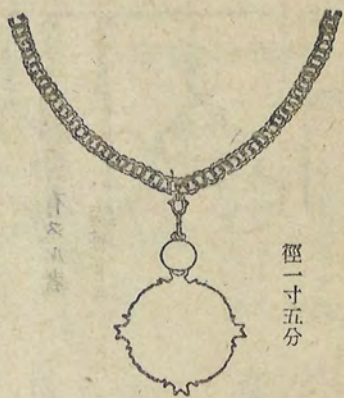
内閣總理大臣林銑十郎

○内閣告示第二號（明治三十五年四月十七日）

大勳位菊花章頸飾略章圖式佩用方

- 一 大勳位菊花章頸飾ヲ有スル者ハ略鎖ヲ以テ略章ヲ喉下ニ佩フルコトヲ得
 - 二 略鎖略章ヲ佩フルハ陸海軍ニ在リテハ正裝正服以外ノ制服著用ノ時其ノ他ニ在リテハ通常禮服著用ノ時トス
- 略鎖略章ノ圖式左ノ如シ

徑一寸五分



○賞勳局告示第二號（改正大正十年四月二十六日閣令第五號、昭和六年八月十一日閣令第二號）

略章略綬佩用心得

- 一 各種勳章ノ略章（凡ソ徑曲尺五六分若クハ其以下ノ大サニシテ）ハ通常禮服著用ノ時或ル場合ニ於テ鏈鎖或ハ小綬ヲ以テ左肋ニ佩用スルヲ得外國勳章ノ略章モ亦同シ
- 二 勳章又ハ褒章ノ略綬ハ通常禮服又ハ通常服著用ノ節左襟見返シノ鈕孔ニ掛ケ佩フヘシ婦人ニ在リテハ左肋ニ佩フヘシ但シ時宜ニ依リ男子ニ在リテハ紋付羽織袴婦人ニ在リテハ白襟紋服著用ノ節ニモ佩フルコトヲ得
- 三 略綬ハ別種二箇以上ノ勳章ヲ有スル者各其綬ト同色ナル絹ヲ以テ二箇若クハ數箇合併ノモノヲ製シ之ヲ佩用スルヲ得二箇以上ノ褒章ヲ有スル者ニ付亦同シ但シ勳章ノ略綬ト合併スルコトナシ又内外數種ノ勳章ヲ有スル者ハ内外數箇合併ノ略綬ヲ製シ之ヲ佩用スルコトヲ得

- 四 褒章ノ略綬ハ勳章ノ略綬ノ左ニ佩フヘシ
- 五 勳章ト褒章トヲ有スル者勳章ノ略綬ヲ佩ヒスシテ褒章ノ略綬ヲ佩フルコトナシ
- 六 略綬ハ勳章、記章、褒章又ハ略章ト同時ニ佩フルコトナシ外國ノ勳章、記章、褒章又ハ略章ニ付亦同シ

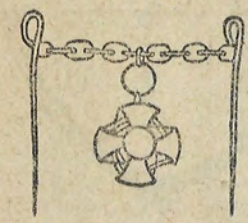
明治二十二年二月十二日

賞勳局總裁伯爵柳原前光

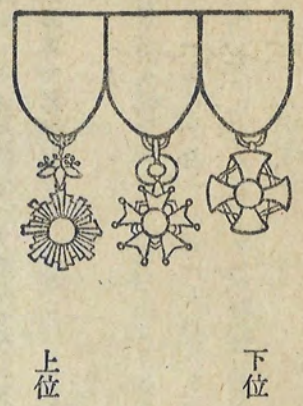
略章ヲ小綬ニテ佩フル圖



略章ヲ鏈鎖ニテ佩フル圖

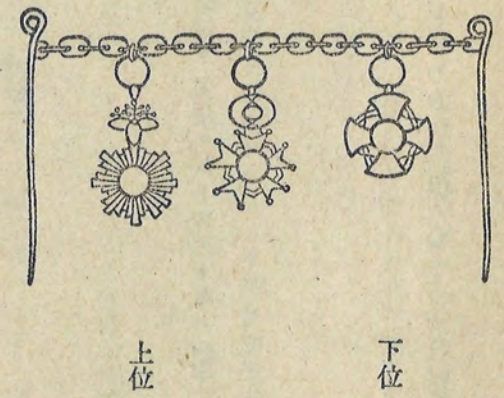


略章ヲ小綬ニテ聯佩スル圖



但上衣ノ左方ニ於テ胸ノ中心ニ近キ所ヲ上位トシ脇ニ近キ所ヲ下位トス

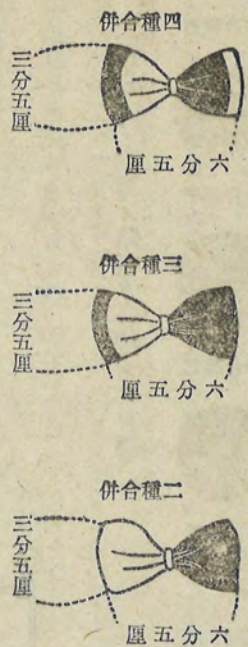
略章ヲ鏈鎖ニテ聯佩スル圖



二種以上ノ勳章ノ略綬ヲ合併シタル圖



褒章ノ略綬ヲ合併シタル圖



附 則

本令(大正十年 閣令第五號)ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令(同 上)施行前褒章ヲ授與セラレタル者其ノ略綬ヲ佩用セムトスルトキハ制式ニ從ヒ各自之ヲ調製スヘシ

○内閣告示第四號

勳章記章又ハ褒章ヲ有スル者ハ大禮服及正装ヲ除クノ外制服着用ノ節各自左ノ制式ノ略綬ヲ製シ之ヲ左肋ニ佩用スルコトヲ得略綬二種以上ニ及フトキハ本章佩用ノ順序ニ從ヒ聯結佩用スルモノトス

一綬 色 本綬ニ同シ

一綬 幅 本綬ニ同シ但シ無綬又ハ大綬ノ勳章ニ在リテハ功三級勳三等ノ綬幅ニ同シ

一綬 長 曲尺三分

大正七年九月十七日

○ 内閣總理大臣伯爵寺內正毅

○大正七年十月二十四日賞勳局總裁ヨリ關係各廳ヘ左ノ如ク通牒ヲ發セリ

通 牒

本年九月十七日內閣告示第四號ヲ以テ定メラレタル制服ニ佩用スルコトヲ得ル略綬ノ佩用方ニ付疑義ヲ生スル向モ可有之ニ付左記ノ通一定致度

記

- 一 略綬ハ勳章、記章、褒章又ハ略章ト同時ニ佩用スルコトナシ外國ノ勳章、記章、褒章又ハ略章ニ付亦同シ
- 二 略綬二種以上ニ及フトキハ時宜ニ依リ其一種若ハ數種ノミヲ佩用スルコトヲ得但シ勳章ノ略綬ヲ佩ヒスシテ他ノ略綬ノミヲ佩用スルコトヲ得ス
- 三 數種ノ略綬ヲ聯結佩用スル場合ニ於テハ其ノ一端ニ於テ之ヲ重スルコトヲ得又一列ニ佩用スルコト能ハサルトキハ二列以上ニ及フコトヲ得

○大正七年九月十七日內閣告示第四號ノ略綬佩用ノ件ニ關シ同年十一月七日附群馬縣知事ノ照

會ニ對シ同月二十一日賞勳局總裁ヨリ左ノ如ク回答セリ

回 答

本月七日附祕官第二三五號ヲ以テ本年九月十七日內閣告示第四號略綬佩用ノ件ハ縣令若ハ縣訓令等ヲ以テ規定シタル制服ニモ適用可然哉ニ付照會ノ趣了承同告示ノ制服トハ勅令若ハ之ニ準スヘキモノ及此等ノ命令ニ基ク他ノ命令ヲ以テ制定セラレタルモノヲ指シ縣令、縣訓令ヲ以テ制定セラレタル制服ニハ適用ナキモノト了知相成度

○

○各種記章佩用ノ順序ニ關スル陸軍省人事局恩賞課長ノ照會ニ對シ大正十年五月三十日左ノ通回答セリ

回 答

本年四月二十九日附勅第九〇四號ヲ以テ各種記章佩用ノ順序ニ關シ照會ノ趣了承右ハ左記ノ如ク了知相成度

- 一、憲法發布記念章ハ勳章ノ左、記章褒章ノ右ニ佩フ
 - 一、其他ノ記章ハ授與セラレタル證狀日附ノ順序ニヨル
 - 一、其日附ノ同日ナル場合ハ記章制定ノ順序ニ依ル
 - 一、記章裏面ノ文字大正三年乃至九年戰役トアルモノハ大正九年三月ノ制定トス
- 追テ各種記念章ハ勳章記章佩用心得ノ記章ニ包含スル儀ニ有之候

○褒章佩用方ニ關スル貴族院ノ照會ニ對シ大正十年六月十日左記ノ旨回答セリ

回 答

褒章ハ記章ノ左ニ併佩シ各種褒章ノ佩用順序ハ記章佩用ノ順序ニ準ス

○

朕勳章還納ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治二十二年三月二十一日

內閣總理大臣伯爵黑田清隆

勅令第三十八號 (官報三月二十二日)

勳等進級シ同種ノ上級勳章ヲ受ケタル者ハ其下級ノ勳章ヲ賞勳局ヘ還納スヘシ
但勳記ハ還納スルノ限ニアラス

○

○閣令第九號 (官報三月二十二日)

勳章還納手續ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十二年三月二十一日

內閣總理大臣伯爵黑田清隆

勳章還納手續

第一條 同種上級ノ勳章ヲ授與セラレタル者ハ一週間以內ニ其下級ノ勳章ヲ賞勳局ヘ還納スヘ

シ

第二條 同種上級ノ勳章ヲ賞勳局ノ送達ニヨリ受領シタル者ハ直ニ其領票ト共ニ下級ノ勳章ヲ同局ヘ差出スヘシ

官廳ヲ經テ受領シタル者ハ其官廳ヘ差出シ官廳ハ之ヲ賞勳局ヘ送付スヘシ

第三條 外國人ノ勳等進級シ同種上級勳章ヲ受ケタル者ハ亦此手續ニ從ヒ下級ノ勳章ヲ還納スヘシ其外國ニ在ル者ハ最寄公使館又ハ領事館ヘ差出スヘシ

第四條 公使館又ハ領事館ニ於テ前條勳章ヲ領收シタルトキハ外務省ヘ送付シ同省ハ之ヲ賞勳局ヘ送付スヘシ

第五條 勳章還納ニ關スル費用ハ受章者ノ自辨トス又官廳ヨリ賞勳局ヘ送付スルモノハ其官廳ニ於テ支辨スヘシ

附 則

一從前同種勳章ニ進級シタル者ハ東京ハ二週間以内各地方ハ三十日以内ニ下級ノ勳章ヲ還納スヘシ我國在留ノ外國人亦同シ其外國ニ在ル者ハ手續第五條ニ依ルヘシ

但進級者既ニ死亡シタルトキハ本文ノ限リニアラス

○

○内閣告示第六號 (大正三年十二月二十九日)

勳等、功級ニ敍セラレ又ハ記章、褒章ヲ授與セラレタル者族籍、氏名ヲ變更シタルトキハ其ノ

旨速ニ賞勳局ニ届出ツヘシ變更後未タ届出テサル者亦同シ

前項ノ者死亡シタルトキハ家督相續人、戸主又ハ親族ヨリ届出ツヘシ死亡後未タ届出テサル者亦同シ

届書ニハ勳等、功級ニ敍セラレ又ハ記章褒章ヲ授與セラレタル者ノ氏名、勳等功級、勳章、記章、褒章ノ名稱勳記功記年金證證狀章記ノ番號ヲ明記スヘシ

